

人感センサーとRFIDを組み合わせたエリア検知センサー「You Dare！」

<p>概要・品質・性能</p>	<p>人感センサーとRFIDの組合せによりエリアセキュリティを実現したエリア検知システム。検知エリア内に関係者以外が侵入すると、関係者か関係者以外かを判断し、一定時間経過で警戒アラームが鳴り、滞留が続いた場合には信号が出力される。</p> <p>人を感知する人感センサーは様々な警備の場面に活用され、機械警備システムでは基幹部材として重用されている。しかし、金庫・薬品庫周辺や立入禁止などのゲートなしでのエリア管理が必要となる場面では関係者なのか否なのか、侵入者の検知管理がむずかしく、エリアでの異常検知ができなかった。同検知システムはRFID(UHF帯)の通信機能を利用し、そのタグと人感センサーを組み合わせることでエリアのセキュリティを実現した。</p> <p>当該エリアおよび警戒エリア内に責任者が不在の場合、指定管理エリアに責任者以外の人近づいた時にはアラートを発する機能や、通行者の属性管理機能も装備。また警戒セットの自動セット・解除機能により特定の管理者が警戒エリア内に検知された時から警戒エリア内は警戒解除状態になり、管理者が警戒エリアから最終退出者となった場合には警戒セットとなる。</p> <p>機器の定価は15万円(税別)。警備でゲート設置が必要な場合、概算費用として開閉制御装置とドアおよび施工費とのセットで約100~200万円を要するが、格安で今まで無かったエリアセキュリティを構築できる。</p>	<p>※検知装置：人感センサーとRFIDを併せた検知システム</p>
<p>用途</p>	<p>① 学校・企業・マンションなどで、非関係者の侵入検知を行う。ゲート管理が無い箇所への利用 ② ビニールハウスなどの警備対象外施設への利用 ③ 福祉施設で入所者にタグを持たせず徘徊の検知</p>	<p>技術移転</p> <p>① 形態 特許実施権供与 ② 相手先 問わない ③ 地域 国内・海外いずれでもよい</p>
<p>実用化・情報</p>	<p>[試作・実験] 完了 [製造・販売実績] 有 [技術情報の提供] 技術資料、パンフレット、特許公報等、サンプル [情報提供者] (株) C-t-i 田口 亮 [連絡先] (公財) りそな中小企業振興財団 TEL 03-3444-9541 FAX 03-3444-9546</p>	<p>特許等</p> <p>特許番号：特許第6562405号 登録日：令和1年8月2日 特許権者：(株) C-t-i 発明者：田口 亮 名称：警備装置及び警備システム</p>